

2024年日本建築学会奨励賞 候補業績の応募

2024年日本建築学会奨励賞候補業績を下記の要領によって公募し、すぐれた業績を表彰いたします。

会員各位には、下記募集要領をご参照のうえ、期日までに、審査のために必要な資料および表彰に値する説明書を添付のうえ、ご応募をお願いいたします。

2023年8月
一般社団法人 日本建築学会

募集要領

新進の研究者による、近年中に発表された独創性・先駆性・萌芽性・将来性のある建築に関する優れた論文等の業績を表彰いたします。

1. 候補者資格

審査対象業績の業績発表の時点で本会正会員（個人）かつ満40歳未満の者。ただし、この制度によってすでに賞を受けたことのある者、また過去に学会賞（論文）を受賞した者を除く。

2. 業績

2020年1月より2022年12月の間に発表された、建築に関する優れた論文等（日本建築学会〔各系〕論文集、技術報告集、JAABE、JAR（原著論文）、本会以外の刊行するImpact Factor付きの英文学術誌に掲載されたもの1編）であって、応募者に帰属する業績。ただし、筆頭著者に限り、一人1編とする。
*オンライン公開日も発表とみなす。最初に発表された年月が対象期間に含まれていること。

3. 審査の対象

会員が応募したもの

4. 審査の資料

(1) 候補応募申込書 1部（書式 <https://www.aij.or.jp/jpn/symposium/2023/2024b.docx>）

(2) 候補論文 3部（コピーでもよい）

(3) 業績説明書 1部

なお、共著者等による補足説明書（A4判1ページ以内厳守）を添付することができる。

(4) 審査の必要上さらに詳細な資料の提出を求めることがある。ただし、資料の作成費は本会には負担しない。

5. 業績説明書

業績説明書は、下記について1,500字以内

（A4判1ページ以内厳守）で候補者自身が説明したもの。

(1) 当該研究分野や隣接分野の発展現況の概説

(2) 候補論文の位置付け、成果の意義などについて、例えば、次の観点のうちのいくつかを選定して、当該分野に貢献したと主張できることの説明

- 高い国際的水準の業績
- 新しい領域・方法・概念の開拓
- 豊かな独創性・先駆性・萌芽性・将来性
- 卓越した緻密さ・丹念さ・努力

(3) 連名の論文の場合は、応募者の果たした役割

6. 応募締切

2023年10月3日（火）17:00（必着）

7. 表彰

(1) 論文の業績を対象とするが、賞を受ける者はその業績をあげた正会員（個人）とする。

(2) 賞は「日本建築学会奨励賞」と称する。

(3) 「日本建築学会奨励賞」の表彰は、賞状・賞牌および賞金を贈る。

(4) 表彰は2024年度大会会場で行う。

8. 審査方法

(1) 審査は日本建築学会奨励賞選考委員会が行う。

(2) 日本建築学会奨励賞選考委員会において厳正な選考を行い、これに基づいて授賞論文を決定する。その際、分野を横断した論文、新しい領域、境界領域の論文についても十分に配慮する。

9. 審査資料の取扱い

(1) 審査資料は、日本建築学会奨励賞選考委員会宛に送付または持参する。

提出先

〒108-8414 東京都港区芝5-26-20

一般社団法人日本建築学会

奨励賞選考委員会宛

(2) 審査のため提出した資料は返却しない。

2024年日本建築学会奨励賞選考委員会

委員長 土田 寛（東京電機大学教授）

幹事 秋月 有紀（富山大学教授）

野村 理恵（北海道大学准教授）

委員 小笠原正豊（東京電機大学教授）

木方 十根（鹿児島大学教授）

吉敷 祥一（東京工業大学教授）

木村 俊明（名古屋市立大学准教授）

桑田 仁（芝浦工業大学教授）

小林 正人（明治大学教授）

真田 靖士（大阪大学教授）

高橋 宏樹（ものづくり大学教授）

那須 聖（東京工業大学准教授）

野田 満（近畿大学講師）

濱崎 仁（芝浦工業大学教授）

樋山 恭助（明治大学教授）

平栗 靖浩（近畿大学准教授）

松田 雄二（東京大学准教授）

松山 賢（東京理科大学教授）

光永 威彦（明治大学専任講師）

安野 彰（日本工業大学教授）

山崎 義弘（建築研究所主任研究員）

山田 悟史（立命館大学准教授）

山本 憲司（東海大学教授）

吉田 友彦（立命館大学教授）